

議案第1号 2025年度(令和7年度)事業計画案

<1> 事業方針

1. 中学生の地域クラブへの移行対応
 - (1) 中体連や日本ソフトテニス連盟の動きに沿って検討・対応を進める。
 - ・日連主催の中学校運動部活動の地域移行に意見交換会に担当・関係者が参加。
2. 競技者育成プログラムの推進
 - (1) 一貫指導システムを推進し、ジュニア強化・競技力向上を図る。
3. IT化の推進
 - (1) 日連の改訂される新システムの活用を図る。
 - (2) IT会員登録システム、大会申込システムの活用により、登録料納付の向上、事務処理の効率を図る。
 - (3) 会員登録システムに連動し審判、技術等級の認定管理を行う。
4. 日本連盟主催各種研修会(1級審判員、小・中・高指導者等)への派遣を行う。
5. 競技性の向上
 - (1) ゼッケン、審判ワッペンの着用
県内大会での一般、35～80の種別においてもゼッケン着用と審判資格ワッペンを持参して、審判の際は左胸に着用し、審判員の意識向上を図る。
高体連及び中体連は、関東、全国大会等の中央大会の神奈川県代表選手については、平成28年度より指定のゼッケンの着用を義務付けている。
〔白の台布にゴシック体(太文字)で、上段に都道府県名又は所属連盟名、中段に名前、下段に所属名(企業名・クラブ名・学校名)〕
6. 協会、学連、高体連、中体連、小学生部会、レディース連盟間の交流促進
 - (1) 生涯スポーツとして愛着を持てるよう各連盟間の交流を図り、潜在する競技人口の維持・拡大に努める。また、交流を通じて競技力の向上を図る。
 - (2) シニアスポーツフェスタの開催 11月23日(日) 小田原デニスガーデン
7. 県内普及事業の実施
 - (1) 小学生養成、初心者指導・スポーツ教室・指導者講習会の開催及び助成
 - ・「ソフトテニスルールとマッチの進め方」の冊子を活用(小学生の低学年対象)することにより、小学生の競技に対する理解を深める。
 - (2) 公認審判員資格講習会の開催ならびに審判員の指導育成
 - ・審判講習会事前受付、認定証交付等の事務改善により会員の利便性の向上を図る。
 - (3) ジュニア審判普及の促進(小学生と中学生を対象)
 - ・小学生低学年用ジュニア審判マニュアル(日本連盟)を活用し、ルール及び審判制度の理解を深める。
 - (4) マスターレフェリーおよびマスターアンパイヤーの認定(50歳以上)

(5) 公認指導員制度の資格取得促進

- ・公認ソフトテニスコーチ等の活用並びに、新たな指導者の資格取得を支援し、指導体制の充実を図る。

公認スポーツ指導者資格取得・更新のための指導者講習会を行い、一貫指導に向けた体制作りの強化を図る。

- ・中学及び高校等でソフトテニス未経験の顧問や指導者を対象とした講習会(スタートコーチ)を行う。
- ・日本連盟主催の全国小学生・中学生・高校生指導者研修会に本県から指導者を派遣する。(未定)

(6) 技術等級・指導員資格認定

①技術等級の認定(大会実績、検定会)②名誉指導員の認定

- ・技術等級制度の周知・徹底を図り、多くの会員に取得させるよう努める。特に検定会による取得の促進を図る。

(7) 地域グループ・ジュニア育成

- ・地域グループ・ジュニアの充実を図ることを目的として、地域協会・高体連・中体連に対し、会員登録料から助成する。
- ・「第9回スポーツひのまるキッズ神奈川県小学生ソフトテニス親子大会・研修会」を開催する。(11月30日(日)平塚田村軟式庭球場)

(8) ソフトテニス愛好者増加対策の推進

- ・中学校部活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレイできる環境を提供する。またレディースを含めた社会人を対象として愛好者増加対策事業を実施する支部を支援する。

8. ソフトテニスを通じた青少年の健全育成

- (1) ソフトテニスを通じて自己責任及びフェアプレイの精神を身につけ、マナーを重んじる教育を推進し、青少年の健全育成を図る・環境宣言『来た時よりも美しく』フェアプレイ宣言『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』の横断幕を連盟主催大会での掲示やプログラム掲載を行うことにより、環境とマナーの向上を図る。

- (2) 大会や強化事業を実施する際にごみの分別、持ち帰り等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するための物を大切にする生活習慣を徹底する。

- ・スポーツと環境保全シンポジウム等、会議への積極的参加

(3) スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進

- ・スポーツ活動を通して青少年の自己責任やフェアプレイの精神などを身につけることに、仲間との交流を通じて、コミュニケーション能力の育成や他人に対する思いやりなど、豊かな人間性を育てる青少年の健全育成に取り組むと共にソフトテニスが誰にでも誇れる格調高い競技を目指す。

＊ワッペン着用、審判をする際の姿勢・態度等、審判のマナーの向上を図る。

※「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動の継続推進。

・「ソフトテニスマナーBOOK」をPRしていく

・マナーチェックシートを活用し、実態調査と指導を継続して行う。

・暴力の根絶の徹底を図る。

9. 強化事業の実施

(1) 県内強化事業

・国スポ総合優勝と中央大会上位入賞を目指しての強化合宿・練習会の実施。

・競技力向上ジュニア対策強化育成練習(step1・2)ならびに関東中学校研修大会等の実施。

(2) 県外強化事業

・中央大会、近都県大会(関東オープン・川口市対抗・富士宮インドア・静岡県対抗戦)、競技者育成プログラム(Step3・4)へ積極的に選手団を派遣する。

10. 競技団体のあり方・事業運営の調査、研究の実施

(1) 組織、人口、登録方法の調査の実施。

(2) 既存大会の整備、実施方法について検討。

11. 広報活動の実施

(1) ホームページによる広報・諸連絡(見やすくリニューアルする)

・事業計画・事業報告

・大会日程・要項

・大会結果

・日連会員登録システム

・審判講習会

・その他諸連絡

(2) 日本連盟機関誌「ソフトテニス」への情報提供

(3) 県連盟情報誌(web版・紙面)の刊行

<2> 大会日程ならびに会場

別紙、「2025年度(令和7年度)神奈川県ソフトテニス連盟大会日程表」のとおり、県連盟主催大会の申込受付は、ホームページ上の「大会申込要領」に準じて行う。

<3> 大会要項(中央大会等県外大会)について

※日本連盟の正式な大会要項は3月上旬に日連HPに掲載予定

※中央大会等県外大会へ出場する場合は、ゼッケンは四隅を止めて、必ず着用すること。

大きさ……B5版(タテ18.2cm、ヨコ25.7cm)

表示方法… 団体戦・個人戦共、黒文字ゴシック体太文字上段(1/4) 県名、中段(2/4)

名前、下段(1/4) 所属名の3段式

1. 第76回関東選手権大会(5月24日(土)・25日(日)茨城県神栖市、北茨城市、筑西市、日立市)
 - ・県予選会を実施する。(各種別共、予選会を行い県代表を決定するが、申込数が出場枠に満たない場合、予選会は行わない。)
 - ・前年度大会の成績8本以内は、関東連盟からの推薦により出場できる。
(但し同一ペアに限る。)(予選会による県代表選出ペア数)……一般男女は24ペア、
35男女・45男女・シニア50男女・シニア55男女・シニア60男女・シニア65男女・
シニア70男女・シニア75男女・シニア80男女は16ペア(令和6年度より増)
高校生は4ペア、中学生は2ペア
 - ＊一般男女については、参加枠内であれば高校生の参加を認める。
 - ・中央大会参加料は県連負担(予選会実施の場合)
 - ・中央大会参加資格 …一般男女は技術等級2級以上(ただし中高生は免除とするが、
年度内に申請取得する)・審判資格、他種別は審判資格
 - ・参加申し込みが8ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
2. 第6回全日本ミックスダブルス選手権大会(6月14日(土)・15日(日) 広島県広島市、福山市他)
 - ・一般の部(年齢制限なし、大学生・高校生・中学生の参加可)……20ペア
 - ・その他の種別(35・45・50・55・60・65・70)はフリー出場とし、県予選会を実施しない。
 - ・中央大会参加資格 …一般は技術等級2級以上・審判資格、他種別は審判資格
 - ・参加申し込みが8ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
3. 第80回東日本選手権大会(7月19日(土)・20日(日) 富山県富山市他)
 - ・全種別共フリー出場とし、県予選会を実施しない。高校生は4ペア、中学生は2ペア
 - ・中央大会参加資格 …一般は技術等級2級以上・審判資格、他種別は審判資格
 - ・種別は関東大会と同じ20種別。
 - ・参加申し込みが8ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。
4. 第53回全日本社会人選手権大会(8月30日(土)・9月1日(日)北海道苫小牧市他)
 - ・県予選会を実施する。
(県代表選出ペア数)…一般男女=20ペア、35男女=16ペア、45男女=16ペア
1人1種別。
 - ・中央大会参加資格 …一般男女は技術等級2級以上・審判資格、
35男女と45男女は審判資格
5. 第29回全日本シニア選手権大会(9月20日(土)・21日(日) 兵庫県神戸市、京都府福知山市他)
 - ・種別 …50男女・55男女・60男女・65男女・70男女・75男女・80男女
 - ・全種別共フリー出場(県予選会は行わない)1人1種別。
 - ・中央大会参加資格…審判資格
 - ・参加申し込みが8ペア未満の場合は、年齢の若い種別に組み入れられる。

6. 第80回天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会
(11月6日(木)～8日(土) 東京都 有明テニスの森)
・男子、女子共県予選会を実施する。ただし、本部推薦ペアを除く。
(県代表選出ペア数)…両種別共5ペア(関東ブロックでの開催のため)
・中央大会参加資格……技術等級SP以上。
7. 男子第70回/女子第69回全日本実業団選手権大会
(7月25日(金)～27日(日) 青森県青森市)
・県予選会を実施する。(県代表選出チーム数)……男子4チーム、女子4チーム
8. 第32回全日本クラブ選手権大会(10月25日(土)・10月26日(日) 千葉県白子町)
・団体戦……県予選会を行わずフリー出場とする。
9. 第52回全日本レディース大会個人戦(7月26日(土)・27日(日) 三重県四日市市、鈴鹿市)
第47回全日本レディース決勝大会団体戦(8月30日(土)・31日(日) 福島県会津若松市)
・全種別県予選会を実施する。ただし、あやめ、はぎ、さつき、さくら、もも、ふじ、
フラワーの6種別は県大会のみ。
(県代表選出ペア数)……すみれ1ペア、ばら2ペア、ゆり1ペア、きく1ペアで1チーム
第5回全日本レディース決勝大会団体戦シニアの部
(10月16日(木)・17日(金) 大阪府大阪市)
・全種別県予選会を実施する。
(県代表選出ペア数)……あやめ2ペア、はぎ2ペア、さつき1ペアで1チーム
10. 第79回国民スポーツ大会(10月3日(金)～10月6日(月) 滋賀県長浜市)
・全種別共予選会・選考会を実施(第1次予選会以降は選考会により県代表選手を
決定・県連盟推薦も併用)
11. 関東小学生選手権大会(7月5日(土)・6日(日) 茨城県神栖市)
東日本小学生選手権大会(7月12日(土)・13日(日) 宮城県仙台市)
第42回全日本小学生選手権大会(7月31日(木)～3日(日) 茨城県神栖市)
第25回全国小学生大会(2026年3月29日(日)～31日(火) 千葉県白子町)
関東・東日本・全日本・全国は県予選会を実施する。選出ペア数……関東は高学年
男女各8ペア、低学年男女各4ペア、東日本・全日本は男女各4ペア、全国小学生
大会はダブルス①5年生の部②4年生以下の部男女各4ペア以内、シングルス
6年生の部男女各2名以内
12. 第39回STリーグⅢ(関東実業団リーグ) (7月5日(土) 千葉県白子町)
・県予選会を行わず、フリー出場とする。
・ダブルス2ペア、シングルス1名の対抗戦とし、チームの編成は監督1名
選手8名以内とする。
・5チームのリーグ戦で同レベル同士が対戦する部制となっている。
13. 国民スポーツ大会関東ブロック大会(8月22日(金)～24日(日) 群馬県前橋市)
・種別(ブロック選出数)…成年男子(2/8)、成年女子(8/8)、少年男子(3/8)、
少年女子(4/8)

14. 第47回関東レディース選手権大会(9月23日(火)・24日(水) 埼玉県熊谷市)
9月23日(火)一般・35・45・シニア50・55
9月24日(水)シニア60・65・70・75
・種別の参加数により 後日、日程を変更する可能性がある。
15. 第55回関東中学校選手権大会(8月6日(水)～8日(金) 山梨県甲府市)
・男女個人戦 各都県男女8ペア ・男女団体戦 各都県男女4チーム
16. 日本スポーツマスターズ2025(9月20日(土)・21日(日) 愛媛県今治市)
・種別…35男女、45男女、ミックス(35女・45男)
・全種別共予選会を実施する。
17. 静岡県・神奈川県対抗大会 中止
18. 第37回ねりんピック2025(10月18日(土)～10月20日(月) 岐阜県瑞浪市、大垣市)
・地域を考慮して県連盟が代表チームを推薦する。**(横須賀ソフトテニス協会を県代表チームとして推薦)**
*推薦の順番は小田原⇒県央⇒藤沢⇒平塚⇒横須賀⇒小田原へ戻る
(横浜市、川崎市、相模原市は政令市チームとして別に参加)
19. 第8回関東シングルス選手権大会(2026年3月1日(日) 神奈川県小田原市)
・種別…シングルス男子・女子 選出数 一般男女各4名、高体連男女各2名
・全種別共予選会または選考会を実施し代表者を推薦する。
・番組編成会議時に参加選手数が男女それぞれ64名に満たない場合は、神奈川県で足りない分を補う。予選会の次点選手や高体連・中体連の推薦等を用いて、強化委員会、競技委員会で検討して決定する。

<4> 2025年度(令和7年度)登録方法と会費について

- 登録方法は、各団体から直接(公財)日本ソフトテニス連盟のホームページにある会員登録システムを活用して県連盟と日本連盟へ登録することとする。ただし、大学は、学連経由、中体連は郵便振替による登録とし、レディースは一括登録とする。

区 分			金 額		
			現行	改訂後	
登録団体	社会人団体	県連盟	15,000円	15,000円	(1団体)
	学連	県連盟	3,000円	3,000円	(1校)
	高体連	県連盟	6,000円	6,000円	(1校)
	中体連	県連盟	2,000円	2,000円	(男女別1チーム)
	レディース	県連盟	50,000円	50,000円	(一括)
会員登録	社会人	日本連盟	1,000円	2,000円	(1名)
		県連盟	1,000円	1,000円	(1名)
	学連	日本連盟		※日本学連経由で登録	
			500円	1,000円	(1名)
		県連盟	500円	500円	(1名)
	高体連	日本連盟	500円	1,000円	(1名)
		県連盟	500円	500円	(1名)
	中体連	日本連盟	500円	500円	(1名)
		県連盟	200円	200円	(1名)
	小学生	日本連盟	500円	500円	(1名)
		県連盟	500円	500円	(1名)
	指導者	日本連盟	1,000円	2,000円	(1名)

<5> 2025年度(令和7年度)登録補助金について(一部未定)

区 分		金 額	
		現行	改訂後
地域協会	1団体 (県連盟分)	4,000円	4,000円
	会員登録1名 (日本連盟分)	200円	400円
	〃 (県連盟分)	100円	100円
学連	1校 (県連盟分)	2,000円	2,000円
高体連	1校 (県連盟分)	4,000円	4,000円
	1名 (日本連盟分)	50円	100円
中体連	1団体 (県連盟分)	1,900円	1,900円
	1名 (日本連盟分)	100円	100円
レディース	一括	30,000円	30,000円

※団体からの登録に対する補助金は、4.管理費、4.運営費補助として、
 個人からの日本連盟と県連盟への登録に対する補助金は、1.事業費、
 3.指導普及費、1.指導者、地域、ジュニア育成費で還元する。